



アンドラ・プラデシュ州概要

2026年6月
在チェンナイ総領事館

1 基礎データ

- * 州都: アマラヴァティ
- * 人口: 5563万人(2026年4月推計)
- * 面積: 16万205km²(県(District): 26)

- * 識字率: 72.6%(男性: 78.8%、女性: 66.8%)(2023-24年)
- * 宗教別人口比率: ヒンドゥー教: 90.87%、イスラム教: 7.33%、キリスト教: 1.38%(2011年)
- * 主要言語: テルグ語

2 政治

(1) 州政府

- * 州知事: サイド・アブドゥル・ナズィール
(Syed Abdul Nazeer)
(2023年2月～)
- * 州首相: チャンドラバブ・ナイドゥ
(Chandrababu Naidu)(TDP)(2024年6月～)



ナイドゥ州首相

(2) 州議会: 二院制

- 下院(定員: 175)(任期5年)(2029年4月任期満了)
- * 与党: テルグ・デサム党(TDP)135、ジャナセナ党(JnP)21、インド人民党(BJP)8
 - * 野党: YSRコンGRES (YSRCP)11
- 上院(定員: 58)(任期6年、2年毎に3分の1の改選)
- * 与党: TDP10、JnP2、BJP1など
 - * 野党: YSRコンGRES(YSRCP)32など

(3) 概況

2024年5月の州議会選挙で、ナイドゥ党首率いるTDPなどの野党連合がレッディ州首相(当時)のYSRCPに大勝し、政権交代が実現。

ナイドゥ州首相は4回目の政権下で、中央でのBJPとの連立をテコに首都アマラヴァティの開発を始め教育、技術開発、インフラ整備、投資誘致などに積極的に取り組んでいる。

3 経済

(1) 主要指標

- * 名目州内総生産(GSDP): 17兆6235億ルピー(2025年度)
- * 1人当たり所得: 29万4507ルピー(2025年度)
- * 実質GSDP前年度比成長率: 10.43%(2025年度)
←11.89%(2024年度)

(2) 特徴

主要産業は医薬品、電子機器、食品加工、繊維、農畜産業、水産業など。電子機器生産高と自動車輸出高はいずれもインド全体の10%を占める。スリシティ、アダニ港湾経済特区のほか、ファーマシティ、アパレルシティなど分野別の工業団地も設置。

沖合のクリシュナ・ゴダバリ盆地に豊富な埋蔵石油・天然ガスを有するほか、鉱物資源にも恵まれ、ビジャカパトナム港を始めとした港湾インフラも充実。

産業構成比は第一次産業31%、第二次産業27%、第三次産業42%(2025年度)。

(3) 日系企業の動向

進出日系企業拠点数は127(2024年10月現在)。主な進出企業はいすゞ、東レ、ユニ・チャーム、コベルコ、ダイキン、THK、エーザイ、日本製鉄など。スリシティに日系企業約30社が入居。

4 アンドラ・プラデシュ州との関係が深い地方自治体

- * 富山県など